

2022年3月吉日

同窓生各位

## 神戸親和女子大学の「男女共学化」（予定）について

平素は親和学園の教育研究にご理解とご支援を賜り、心よりお礼を申し上げます。コロナ禍が長く続いています、いかがお過ごしでしょうか。ご健勝で活躍されますよう祈念申し上げます。

さて、本日は、親和学園が設置する神戸親和女子大学について重要なお知らせをいたします。

神戸親和女子大学は、2023年4月1日から男女共学の大学に移行する予定です。その理由と背景について説明申し上げます。

現代は、DX（デジタルトランスフォーメーション）に代表されるように、驚異的なテクノロジーの革新、グローバル化、加速度的に進行する少子高齢化、そしてコロナ禍により、種々の分野で「破壊的な変化」が起こっています。まさに、**VUCA(変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)の時代**と呼ぶにふさわしい激動の時代となっています。

この先の読めないVUCAの時代において、コロナ禍もあり、高等教育（大学）の教育研究に要求されるものも大きく変わってきました。他分野における社会的な課題の解決には、とくに、性別・人種・文化・世代を超えて他者と協働して取り組む人材の育成が急務となっています。こうした人材育成が大学の喫緊の課題となり、大学は、その教育研究の在りようを根本から問い直し変えなければならない転換期に直面しているものと認識しています。

とくに日本では少子高齢化が加速度的に進行しています。30年前には18歳人口は200万人を超えていましたが、2021年の出生数は約84万人となりました。数年先には、70万人を割るとも予想されています。一方、この間、大学数は約2倍になり、大学間における学生確保の状況は文字通り「サメの棲むレッドオーシャン」の世界になっています。

このようなVUCAの時代、DXの時代、少子高齢化の時代、そしてコロナ禍等々、時代の変化に対応して大学も変わらなければ存続発展できないと考え、そして、この時代の転換期こそ、本学が共学の大学として生まれ変わるタイミングであると判断致しました。

また、共学化の個別的な理由として、教員不足という社会的課題の解決への貢献という面があります。現在、教員志望者が加速度的な減少傾向にあり、多くの教員養成系の学部学科が志願者・入学者を大きく減少させているという状況があります。すでに、幼稚園教諭・保育士・小学校教諭の不足が深刻化しつつあります。本学の場合、教員養成に注力し高い実績を残してきましたが、こうした教員志望者の減少と教員不足という状況に危機感を抱き、共学化でこの市場を拡大し、より多数の教員を社会に輩出することで、教員不足という社会的な課題の解消に貢献できるものと考えています。

いずれにしても、このたびの共学化は、新たな大学として生まれ変わる、親和学園の

歴史に新たなページを刻む、まさにトランスフォーメーションであるのご理解をお願い申し上げます。

なお、男女共学に伴う学則変更（予定校名：「神戸親和大学」）につきましては、文科省へ申請手続きが終了した時点で改めて正式に発表させていただきます。

終わりにになりましたが、同じく親和学園が設置する親和中学校及び親和女子高等学校につきましては、創立 135 周年を迎え、さらに女子教育の進化と発展に邁進してまいる所存です。ますますのご理解とご支援をお願い申し上げます。

以下、ご参考までに、男女共学になり新たに目指す大学のビジョン、建学の理念・コアバリュー、パーパス（存在意義）、ミッション、そして教育の方針・特色等を提示いたします。ご理解とご支援をお願いする次第です。なお、中には、さらに議論を必要とする箇所もあることをお断りしていきます。

#### **1. ビジョン:「共に学び共に成長する大学」**

性別・人種・国籍・文化・世代の違いを超えて、学生ひとり一人が無条件にリスペクトされ、共に学び共に成長する大学、夢のある飛躍する大学 (Visionary University) を目指します。

#### **2. 基本理念&コアバリュー(中核的価値)**

- (1) 基本理念：主体的に社会に対応できる人間を育成する（学則第1条）。
- (2) コアバリュー：親和学園の建学の理念である3つの校訓（誠実・堅忍不拔・忠恕温和）を基礎として、現代社会に対応するものとする。  
「誠実・レジリエンス（堅忍不拔）・信頼&思いやり（忠恕温和）、協働・共創、インクルージョン（包摂性）」

#### **3. パーパス(存在意義):社会の未来を創る人を育成する。**

- (1) グローバルな社会的課題の解決に他者と協働して取り組むことのできる人材の育成
- (2) 社会の変化と多様性に対応できる人材の育成
- (3) DX時代に貢献する知識とスキルを有した人材の育成

#### **4. ミッション**

- (1) 学生ひとり一人と日々誠実に向かい合い、その成長を支援する教育、いわゆる「H2H (human to human) 教育」を実践する。
- (2) その教育において学生の成長志向&未来を創る可能性への畏敬を重視する。

#### **5. 教育の基本方針・方略**

- (1) 両利きの学び：深化と探索
- (2) 体験学習（オフキャンパス）と座学（オンキャンパス）の有機的結合
- (3) 企業と連携した PBL (project-based-learning) の重視
- (4) 対面授業とオンライン授業のブレンディド型授業の導入

## 6. 社会の未来を創る特色あるプログラム

- (1) 教育現場&企業での長期に及ぶ積み上げ方式によるインターンシップ
- (2) 「数理・データ・サイエンス」プログラム
- (3) 心理・ビジネスプログラム
- (4) 遠隔地とのオンライン教育支援プログラム
- (5) 保育者養成塾プログラム
- (6) 海外大学留学プログラム
  - ① オーストラリア：西オーストラリア大学（1年間）
  - ② アイルランド：コーク大学（1年間）
  - ③ カナダ：トロント大学（8か月間）
- (7) 海外先端校舎研修プログラム（※アフター・コロナの実施）
  - ① イタリア・レッジョエミリア幼稚園
  - ② カナダ・トロント大学附属校舎
  - ③ アメリカ・コロンビア大学附属校舎
- (8) 学部・学科共通の新規プログラム（副専攻）を検討中

さて、親和学園は、1887（明治20）年に創立された親和女学校を創始として、お蔭様で今年創立135年を迎えることができました。その記念すべき年に、親和学園が1966（昭和41）年に設置した神戸親和女子大学を男女共学の大学に移行することは、私たちにとってもまことに感慨深いものがあります。もちろん、生徒・学生・同窓生をはじめ学園関係者にとっても同じ気持ちだと思っています。

改めて、皆さんにおかれましても、私たちの大学が新たな大学としてスタートすることにご理解とご支援をお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、コロナ禍の収束が見えない中、どうぞ感染防止と体調管理にお努め下さいますよう祈念申し上げます。

学校法人親和学園  
理事長 山根耕平